

JAGUAR 2012 年モデル プレスインフォメーション (2011 年ニューヨークモーターショー)

JAGUAR 2012 年モデル ラインナップ概要

XF

- フラッグシップモデル XJ と同じ DNA を持つコンテンポラリーな新しいエクステリア
- 最先端技術を搭載し、グレードアップしたインテリア
- パワートレインを全面的に改良することにより性能と燃費が向上

XK

- ドラマチックなデザインをさらに磨き上げたスポーツ GT
- 最高時速 186 マイル (300km/h) を誇るレンジトップの「XKR-S」
- ラグジュアリーとスポーティーな性格を一層強調する新たなオプションパック

XJ

- 比類なき性能とラグジュアリーを兼ね備えたオールアルミボディのフラッグシップモデル
- 軽量ボディ構造が可能にする秀逸な俊敏性と優れた燃費
- 新たな「リアシートコンフォートパック」は贅を尽くしたリムジンの乗り心地を提供

はじめに

2011 年 4 月 20 日
(ニューヨーク発)

「ジャガーの 2012 年モデルラインナップは、これまで以上に素晴らしいものとなります。全モデルがブランドの理想とする『革新性、大胆なデザイン、そしてゆとりのある高性能』を十二分に具現化しています。私たちのデザイナーとエンジニアは、ジャガーが競合他社よりも一歩先を行く存在であり続けるために日夜努力を続けています。そして、幅広い層のお客様に訴求する車でありながらも、プレミアムカーの主流とは一線を画す、個性のあふれる車を創り出しています。」

ジャガーカーズ グローバルブランド・ディレクター
エイドリアン・ホールマーク

ジャガーXF、XK、そしてフラッグシップであるXJの各2012年モデルが2011年のニューヨークモーターショーでデビューを飾ります。全車種に加えられた大幅な変更と改良の結果、その性能と洗練された乗り心地、そして燃費はこれまでにないレベルに到達しました。またフレッシュなデザインは、ジャガーの最新ラインナップのコンテンポラリーな魅力をいっそう高めています。

XFは、その性能とスタイリングの両面が認められ、これまでに世界各国で80以上もの賞を受賞していますが、2012年モデルでは、大胆なフロントマスクの採用とリアのリフレッシュメントが行われたことで、フラッグシップモデルXJとのデザイン共通性がさらに表現されました。さらにスーパーチャージドエンジン搭載のXFRは、誰もが魅了されるXFレンジ最高峰の性能をイメージさせる、ユニークでドラマチックなデザインが施されました。

技術面の大きな進歩の1つとして、刷新された最先端の2.2リッター4気筒ターボディーゼルエンジンが挙げられます。このエンジンにはジャガー車で初となる燃料消費と排出ガスを抑えるインテリジェント“ストップ/スタート”システムが採用されています。ディーゼルエンジン搭載のXF（日本市場は導入せず）は、真のジャガー・スポーツサルーンに必要な性能と洗練性を犠牲にせず、複合条件下で52.3mpg（英ガロン）の燃費と149g/kmのCO₂排出量を達成し、ジャガーラインナップで最も燃料効率の優れたクルマとなっています。

2012年モデルのXKは、高性能スポーティングGTとして、数々の賞を獲得した定評あるモデル

をベースに造られています。XK レンジ最高峰の XKR-S は、最高時速 186 マイル（約 300km/h）と、0-60mph（100km/h）に 4.2 秒で到達する加速力を誇り、ジャガー史上最もパワフルな量産車としての金字塔を打ち立てています。強い意志を感じさせる新しいフロントマスクとリアの変更は XK 全モデルに採用され、今の時代にふさわしい視覚的なアピールを行っています。また一連のグレードアップパッケージを選択することで、性能とスタイリングの両面において、さらなるカスタマイズが可能です。またインテリアにも新たなオプションが追加され、こだわりを持つドライバーの方は、ラグジュアリー重視、もしくはパフォーマンス重視のセッティングを好みに応じて選択可能です。

フラッグシップモデルである XJ ラグジュアリーサルーンにおいて、インテリアとオプションの充実に大きく貢献しているのが新たに設定された「リアシートコンフォートパッケージ」です。電動リクライニング、ランバー調整、マッサージの各機能がエグゼクティブ・リムジンの贅をつくした体験をさらに素晴らしいものとしします。

ジャガーを未来の成功に導く立役者で、デザインディレクターとしてこれまで数々の賞を受賞しているイアン・カラムが主導したデザインとテクノロジーの革新がもたらした成果こそが、これら 3 台のクルマです。

「世界はここ数年で、全く新しい世代のジャガーを目にしてきました。ラインナップがさらに充実した結果、今日、ジャガーは初めてメンバーが勢ぞろいしました。2012 年モデルの XK、XF、XJ は、新しい境界線を打ち破ったデザイン主導の製品です。私たちのクルマは、エモーショナルなレベルでお客様と共鳴することを確信しています。そのことはドライバーの運転とクルマを見る眼差しからも十分に見て取れます。」

ジャガーカーズ デザイン・ディレクター
イアン・カラム

ジャガーXF 2012 年モデル概要

- 大幅なデザイン変更により XF のエクステリアは XJ と共通性を感じられるものに変更
- レンジトップ XFR はユニークで自己主張の強いスタイリング
- HID キセノンヘッドランプは、「J ブレード」パターンのランニングライト用 LED ライト搭載のダブル機能
- フロントバンパーとリア下部スカートは各モデルを差別化する 3 タイプの特徴的なデザインを用意
- テールランプのブレーキ、テール、方向指示の各ライトに LED を使用
- アロイホイールとボディカラーに新しい選択肢を追加
- 新開発 AJ-i4D ディーゼルエンジン搭載モデル（日本市場は導入せず）は、ジャガー史上最高の燃費を誇り、燃料タンクを満たした状態から 500 マイル（約 800km）走行可能
- 190PS/450Nm を生み出す AJ-i4D は、インテリジェント “ストップ／スタート”テクノロジーを採用することで、燃費 52.3mpg（英ガロン）と CO₂ 排出量 149g/km を実現
- 新型 ZF 製 8 速オートマチックギアボックスの採用により、レスポンススピード、シフトチェンジのクオリティ、効率の最適化が実現される
- グレードアップされたインテリアではシートとインストルメントパネルを刷新。出力 1200W の Bowers & Wilkins サウンド システムをオプションで用意

XF デザイン

ジャガー・スポーツカーの魂を持つ XF は、そのダイナミックな能力とドラマチックなスタイリングにより、世界中の賞と多くのファンを獲得してきました。今回のデザインでは、ライティング技術の進歩により、フラッグシップモデル XJ サルーンで初めて採用した大胆なデザイン言語を、XF の 2012 年モデルでも利用しています。

グリル、ボンネット、そして新たに三角形のサイドベントを組み込んだフロントウイングのシートメタルのデザイン変更されたことにより、XF はこれまでよりも筋肉質で、強い意志を示す外観が与えられました。レンジトップの XFR は堂々と自己主張するユニークなデザインによって、その秘められたポテンシャルを想起させます。さらに他のモデルでは「エアロダイナミックオプション」が用意されるなど、3 タイプの大きく異なるスタイリングの選択肢が用意されています。

ヘッドランプはダブル機能を持つ HID キセノン技術が採用されたことにより、非常にくっきりした光を照射しながら従来より遥かにスリムでコンパクトな形状となり、また被視認性にすぐれた独自の「J ブレード」パターンのランニングライト用 LED ライトも組み込まれています。

テールランプは全面的な変更が施され、トランクリッドの中央上部まで延びています。新しいユニットは、ブレーキランプ、テールランプ、方向指示灯の全てに LED を採用し、夜間走行の際、後方から一目で XF と判別できるデザインになっています。各ランプを区分するのはブラックのグロス仕上げがなされた、すっきりした外観のトランクリッドフィニッシャーです。またトランクは全モデルで電動クローズ機能が設定されています。

ボディカラーには 3 色の新色が追加されました。またアロイホイールも 17 インチから 20 インチまで選択の幅が広げられ、新しいスタイリングに最後の仕上げを施す役割を担います。

「純粋なジャガーサルーンとして XF は正しく認められています。強い意志を持ちながらもエレガントさを保ち、そのデザインには生来のスポーティングスピリットが反映されています。2012 年モデルでは、私たちはその性能をさらに進化、強化したこともあり、XF を同クラスの中で最も視覚的にダイナミックなクルマに仕上げることができました。」

ジャガーカーズ デザイン・ディレクター
イアン・カラム

XF パワートレインとダイナミクス

未来のトレンドを先取りしたテクノロジーを組み合わせる、革新への伝統は、この新しい XF にも引き継がれています。

新開発 4 気筒ディーゼルエンジン（日本市場は導入せず）

今回の XF 強化の大きなポイントの 1 つに 2.2 リッター AJ-i4D ターボディーゼルエンジンの導入があります。このパワーユニットは、低摩擦のピストンと水冷式ターボチャージャーを採用することで効率をアップさせるとともに、アクティブエンジンマウントやサンプやエンジンブロックを見直すことで NHV レベルを低減し、乗り心地を改善しています。その成果はジャガー史上最も燃費効率が優れたエンジンであるだけでなく、これまで搭載されていた 2.7 リッター V6 ディーゼルターボエンジンとなんら遜色ない洗練された乗り心地と、ジャガーのスポーツサルーンとして期待される様々な性能をすべて満たしています。さらに遮音素材の追加使用やコンピュータによる流体解析により空力が向上し、全モデルでいっそう洗練されています。

190PS の出力とともに 450Nm という優れたトルクは、ジャガーに期待される力強い走りを提供します。60mph (100km/h) に 8.0 秒で到達する加速力を持つ XF の最高速度は 140mph (225km/h) です。その一方で、このユニットは、EU の複合条件下でジャガー史上最も優れた 52.3mpg の燃費を示し、CO₂ の排出量もわずか 149g/km に抑えられ、ユーロ 5 の基準をクリアしています。

新型 8 速オートマチックトランスミッション

AJ-i4D エンジンは新開発 ZF 製 8 速オートマチックトランスミッションと完璧にマッチングされます。今回、ジャガーに搭載するにあたり、ジャガーのエンジニアたちがチューニングを施したトランスミッションは、加速だけでなく、燃費の向上をはじめとする多くのメリットをもたらしました。ギアシフトに要する時間はわずか 0.2 秒。これは安静時の人間の平均的な鼓動より 4 倍も早い作動である一方で、ドライバーはパドルシフトテクノロジーによってマルチシフトダウンが可能となり、制御能力が向上します。また軽量素材の使用により、総重量は従来の 6 速トランスミッションと同等ながら、ポンプの設計とギアコントロールの要素を改善した結果、燃費効率は向上。ディーゼルエンジン搭載 XF に標準装備されるこのギアユニットは、3.0 リッター V6 エンジンの CO₂ 排出量を 169g/km に減らし、燃費を 44.8mpg に向上させます。

インテリジェント“ストップ/スタート”

2.2 リッターディーゼルエンジンと共にデビューするのが、ジャガーの「インテリジェント・ストップ/スタート」です。この技術がディーゼル搭載のプレミアムサルーンに採用されるのは初めてのことです。この機構はクルマが停止するとわずか 0.3 秒後に自動的にエンジンをオフにするもので、これにより燃費消費と CO₂ 排出量を 5~7% 低減されます。

このシステムにドライバーの介入は一切不要で、エンジンマネジメントシステムが非常に多岐にわたる複雑な要素を分析し、どのタイミングでエンジンを安全に止めることができるかを判断します。専用の補助バッテリー付タンデムソレノイドスターターにより、ドライバーの足がブレーキペダルを離れた瞬間にエンジンは再始動し、アクセルペダルが踏まれている間には走行が最適化されます。このプロセスを助けるために、ギアボックスには油圧インパルスストレージが組み込まれ、シフトエレメントを作動させるための油圧を提供します。

また、全てのディーゼルエンジン搭載の XF にアダプティブダイナミクスシステムが初めて搭載されたことで、走りを楽しむドライバーは XF の卓越したシャシーコントロールを満喫しつつ、スポーティングスピリッツの発見もサポートされます。

XF インテリア

運転席でも乗員席でも、最高級素材をコンテナラリーに使用している XF のキャビンは、最良の時間を過ごさせてくれるスタイリッシュな空間です。

スタートボタンが押されると、センターコンソールからせり上がってくるジャガードライブセレクターや、オープンポジションまで回転するエアベントに代表される「嬉しい驚きと楽しみ」のドラマチックな演出は引き続き提供しつつ、XF のインテリアは大幅に刷新されました。

新しいシートとインパネ

フロントとリアシートには、シートバックと背もたれ部に“（リング状の）フープ”が取り付けられ

た結果、シートは見た目だけでなく、輪郭を強化することによりサポート力も向上しました。レザーには新たなコンビネーションが追加され、パネルやヘッドライニングの多彩なチョイスも加わり、お客様がカスタマイズする選択肢が広がりました。さらに全モデルで従来タングステン仕上げが施されていたセンターコンソール、ダッシュボード、ステアリングホイールのカラースキームが、よりコンテンポラリーな「オーロラ」をテーマとするものに替わりしました。

XF には数々のテクノロジーが採用されています。これまでのジャガーの手法に忠実に従い、それらはクルマの機能の中にシームレスに取り込まれています。さまざまな機能の操作は、コントラストを調整して見やすくするための偏光フィルターが追加された中央の 7 インチ・タッチスクリーンにより実行されます。

ドライバー負担を軽減するために、異なる機能間の切り替えが瞬時にできるように、追加スイッチをタッチスクリーンの下部に用意するなどの変更は、フラッグシップの XJ に倣っています。さらにドライバー用のメインインストルメントクラスターは、従来よりも解像度と鮮やかなフルカラー-TFT ユニットに変更いたしました。

最先端のテクノロジー

XF では従来品と比べて大幅にグレートアップされた 3 タイプのオーディオシステムが新たに用意されています。その最高峰はイギリスのオーディオ専門メーカー、Bowers & Wilkins による出力 1200W、合計 17 のスピーカーを備えたプレミアムセットで、コンサートホールにいるかのような音が再現されます。

全てのオーディオシステムにはハードディスクベースの GPS ナビゲーションシステムを組み入れることが可能です。このシステムにはバーチャル CD マルチチェンジャーが付いており、ユーザーはメモリー上に最大 10 枚の CD をコピーし、再生することが可能です。このシステムには、MP3 プレーヤーを接続するために、様々なオプションが多数提供されることになりました。例えば、2 つの USB ポートの 1 つは iPod 専用であり、またブルートゥース接続によってスマートフォンから音楽をストリーミングすることも可能です。

大部分の機能はジャガーのインタラクティブボイス機能によって制御可能です。これはドライバーシートから直感的なインターフェースで操作するもので、ドライビングの注意を妨げることのないハンズフリーでコントロールできます。

ジャガーXK 2012 年モデル概要

- ドラマチックなフロントおよびリアのスタイリングから生み出されるダイナミックな新しい外観
- 新型インテリジェント LED 技術が組み込まれ、よりスリムになったヘッドランプ
- XKR-S はジャガーのグランドツアラーとして求められる二面性「日常での運転のしやすさを備えたインテリジェントな性能」の究極の表現
- XKR-S は最高速度 186mph (300km/h)、静止状態から時速 60 マイル (100km/h) までの加速時間 4.2 秒を達成。しかも CO₂ 排出量は 300g/km 以下
- 堅牢で軽量な先進アルミニウムボディ構造により、性能、俊敏性、経済性が最大限に実現
- インテリアが改訂されたことで、XK の室内空間のモダンなラグジュアリーがますます強調
- オプションの「パフォーマンス・スポーツシート」は 16 ウェイのシート調節、シートヒーター/クーラー機能、メモリー機能を提供
- 新しい XKR 「ダイナミック・バック」により運転特性がさらに強化
- オプション・パッケージの拡大により、カスタマイズ可能な範囲がさらに拡大
- ジャガーのモーターレーシングの伝統に敬意を表する新しいボディーカラー

XK デザイン

XK はデザインディレクターのイアン・カラムが全面的に指揮をとり、一から手がけた最初のクルマです。ドラマチックで意図的でありながら、ジャガーだけが成し得る官能的なモデルの XK は、その現代的で自己主張に溢れる強力なキャラクターを更に強調すべく、今回、数々の改良が施されています。

ライティング技術の進化によりフロント・ヘッドランプはよりスリムになり、同時に LED シグナル機能やランニング・ランプも組み込まれました。ランプの形状とより大きくなったグリルと新しいバンパーデザインとの併用によって、XK は瞬時の「リアビュー・ミラー」認識、すなわち、前の車がバックミラーで見た瞬間に XK と判る効果を与えています。XK は紛れのないジャガーであり、全グレードにおいて各々のモデルが兄弟車との違いを見分けられるユニークなスタイリング特性を有しています。XK のクロームメッシュグリルは、XKR ではマットブラック・ディテールに変わり、フラッグシップの XKR-S においてはその目的意識を明確に示すユニークなフロントバンパーが与えられています。

フロントウィングに沿ったパワーベントは縦型のデザインからメッシュインサートの入った横型のデザインに変更しました。パワーベントにはジャガーの名前が入り、XK デザインに内在する可能性を強調します。リアは、トランクリッドがよりスリムなクロームフィニッシュに変更されたことにより、よく知られたジャガーの「リーパー」を美しく飾ることが可能となり、ジャガーの他のモデルと共通性が色濃くなりました。

これらのデザインの変更を補完するのが 17 色のボディカラー（内 5 色は新色）と計 11 種の異なるデザインが用意されたアロイホイールで、サイズは 18 インチから 20 インチまで揃っています。オーナーの個性を表現するために更なる機会を提供するのが「ブラック・バック」で、XKR に加え、自然吸気の XK でもオプションとなりました。これにより、エクステリア・クロームはマットブラック・フィニッシュに変更され、20 インチのグロスブラック・アロイホイールで補完されています。XKR においては、このパッケージにはボディと同色のエアロダイナミック・エンハンスメントとオプションのサイド・グラフィックも含まれています。

XK パワートレインとダイナミクス

ジャガーのスポーツカーは高い運動性能とゆとりのクルージング・コンフォートの融合で名声を博してきました。このデュアル・キャラクターを最も端的に体現しているのが 5.0 リッター AJ-V8 エンジンです。

今回で第3世代となるこのエンジンはスプレーガイド・ダイレクト・インジェクション(SGDI)やトルク駆動可変カムシャフトタイミング (DIVCT) などの最新テクノロジーを用いて、驚異的なパ

ワーのみならず優れた燃費効率も提供します。クルマそのものと同様に、このエンジンはハイグレードな軽量アルミニウムで作られており、製造における環境への負荷を軽減するために、リUNDERヘッドとしてリサイクルされます。

最高時速 186mph (300km/h) の新型 XKR-S

当初から自然吸気およびスーパーチャージドの双方のタイプが用意されていたこのエンジンに、今回、3つ目のバリエーションが登場し XKR-S に提供されます。このエンジンは XKR のスーパーチャージド・ユニットをベースとしたもので、改良型フューエル・マッピングとアクティブエグゾーストがパワーとトルクをそれぞれ 550PS、680Nm に強化し、ジャガー史上で最もパワフルな市販車となっています。このエンジンによって XKR-S は時速 60 マイル (100km/h) にわずか 4.2 秒で到達し、最高時速は 186mph (300km/h) を発揮し、「300km/h クラブ」の仲間入りを果たしました。XKR-S は極めてパワフルなクルマであるだけでなく効率性も優れており、CO₂ 排出量はわずか 292g/km です。

XK は全てのモデルがZF 製 6 速オートマチック・トランスミッションを搭載しています。ジャガー・シーケンシャル・シフト機能をコントロールするためのパドルシフトがステアリング・ホイールにマウントされており、ドライバーに優れた制御を提供しています。XKR-S では、このトランスミッションはシフトアップを最適化させるとともに、パワーアップした最高時速を生み出すパワーとトルクに合わせて改良されています。

XK の爽快なドライビング・ダイナミクスは新世代のジャガー・アダプティブ・ダイナミック・テクノロジーの成果によるものです。このテクノロジーは乗り心地とハンドリングにおける二律背反を解消するために、連続したスムーズな可変ダンピングを行います。

豪華さと性能のデュアル・キャラクター

アダプティブ・ダンピングの 3 大機能は、車体の上下動、ロール率およびピッチ率の低減です。毎秒 100 回の頻度で、アダプティブ・ダンピングがライド特性ならびにハンドリング特性を決定する何千にもおよぶインプットと変数を解析します。さらにホイールの位置を毎秒 500 回モニタリングすることで、乗り心地とスポーティング・アピールという、ジャガーの名声高きデュアル・キャラクターを達成しています。ドライバーがこれらの特性を変更したい場合、ボディコントロールを増加させ、スロットルレスポンスをシャープにしてギアシフトの時間を減少させるダイナミック・モードのオプションが用意されています。

XK の 2 種類のスーパーチャージドエンジンもアダプティブ・ディファレンシャル・コントロール (ADC) 技術の恩恵を受けています。これは、マルチプルクラッチを使用して最もグリップの高いホイールへトルクを誘導するもので、ABS やトラクションコントロールとの併用により、中間コーナーおよび最終段階の双方で最適なトラクションと精確さを可能にします。スーパーチャージド以外のモデルは、アンダーパワーでの際立ったグリップ力と安定性をもたらすメカニカル・ディファレンシャルを使用しています。

すべてのモデルはダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) の恩恵を受けています。これにはノーマル、ウィンター、TracDSC、そして DSC Off の 4 つのモードが用意されており、走りを重視するドライバーが路面状況に応じて介入のレベルを選択することができます。

ジャガー史上最もダイナミックでエキサイティングなクルマを生み出すために、XKR-S においては、電子制御システムと軽量アルミニウムボディ構造ならではの剛性の双方が強化されています。

改良型サスペンション

ダブルウィッシュボーン・フロントサスペンションは、完全に機械化された新しいステアリング・ナックルによって徹底的な改良が施されました。これによりキャンバーおよびキャスターの剛性がキロニュートンあたり 0.13° となり、より高いレベルの接地性、フィードバック、正確性のためにステアリングの正確性と重み付けを変換します。リア・サスペンションのジオメトリーは、最高の俊敏性を生み出すために後輪ステアリングを最適化した一方で、スプリングレートは車の両エンドで 28% 高められました。

アクティブ・ディファレンシャルは超高速走行時のステアリング感度を低減すべくプログラミングされており、それにより車の安定性とドライバー・コントロールが高まります。XKR-S のアダプティブ・ダンピング専用のカスタムメイドのソフトウェアが、トータルなボディコントロールおよび最大級のトラクションとグリップの双方を保証します。TracDSC モードへ変更すると介入レベルが修正され、熟練ドライバーがクルマのパフォーマンスの限界までその性能を存分に引き出すことが可能となり、見返りにアクティブ・ニューマチック・バルブを備えたエグゾーストからモータースポーツに触発されたサウンドトラックをお届けします。

サスペンションとパフォーマンス・エグゾースト・システムの変更は XKR モデルのオプションである「ダイナミック・パック」の一部として用意されています。

「XKR-S はジャガーに求められるパフォーマンスのすべてを備えています。通勤時のドライブにおいても、ニュルブルクリンクでの走行と同様に、有能で緻密そしてときどきするようなドライビングを提供します。ステアリング操作、ハンドリング、止まる、走る、のすべてにおいてしっかりとした接地感を与えるために、あらゆるレスポンス。タイミングのずれは最小化されます。」

ヴィークル・インテグリティ チーフエンジニア

マイク・クロス

XK インテリア

XK の二面性はドライバーがキャビンに乗り込んだ瞬間からすぐに分かります。ラグジュアリーで包み込まれるような室内、スポーティ性能の潜在性はスタートボタンが赤く点滅する瞬間から明白です。スタートボタンを押せば、深く、音楽的な反響音とともにエンジンに命が宿り、ドライバーとマシンを繋ぐプロセスの最初の接点としてジャガー・ドライブ・セクターがセンターコンソールからせり上がってきます。

最新の XK では、スイッチ類用の柔らかな感触のエボニーペイントやセンターコンソールのグロスブラック・フィニッシュ、フォスファー・ブルーのハローイルミネーションやアンビエントライティングといった、数多くの新しいトリム素材でキャビンはリフレッシュされています。新しいウッド素材、カラー・コンビネーションおよびヘッドライニングのオプションによって、オーナーはキャビンの雰囲気をも自分の好みに合わせて仕立て上げることが可能です。

レザーで包まれた新型の多機能ステアリングホイールも追加され、クルマとドライバーに触覚インターフェースを提供します。さらに XKR-S では、他のモデルではオプションの「ジャガー」とエンボス加工されたステンレススチール製のペダルも標準で用意されています。

新しいパフォーマンス・インテリア

XKR-S で標準装備、XKR および XK Portfolio ではオプションで用意されているのが新型パフォーマンス・フロントシートです。一体型ヘッドレスト、そして側面およびシートバックのサポート力が強化されたこの新しいシートは、ドライバーと助手席すべての乗員を安全かつ快適にホールドします。シートバック、クッション、腰部そしてボルスターでの 16 ウェイ調節機能は、メモリー機能とヒーティング機能が付いています。コントラストリング・マイクロパイピングとステッチングが施されたカーボンパターンのソフトグレイレザーのインテリアは、XKR-S だけに用意されているものです。ポルトローナ・フラウ社製のイタリアンレザーのヘッドライニングは、XKR-S では標準装備、他のモデルではオプションとして提供されます。

中央の 7 インチタッチスクリーンは、iPod や USB 接続、またナビゲーションをはじめとする、XK にシームレスに組み込まれている広範囲な技術に直感的なインターフェースを提供します。センタースクリーンは新しいリバースパーキングカメラからの映像も映し出します。

ジャガーXJ 2012 年モデル概要

- 先進の軽量アルミニウム構造によって生み出される優れた俊敏性と燃費
- 大胆かつ美しいスタイリングがジャガーのデザイン言語を再活性化
- パワフルで効率の良いパワーユニットは、ジャガー製 3.0 リッターV6 エンジンユニットによってさらに充実（日本市場は導入せず）
- スタンダードとロングホイールベースがあり、後者は乗員にいっそう贅沢な空間を提供
- 新たな「リアシートコンフォート」パッケージは、電動リクライニング、ランバー調整、マッサージ機能がつき、どちらのホイールベースバージョンでも提供可能
- 先進テクノロジーは車の隅々にシームレスに組み込まれており、革新的なデュアルビュー・セントラルタッチスクリーンを介してコントロール
- 新たな「エグゼクティブパッケージ」は、ロングホイールベースをより効率的なモバイルビジネスオフィスとして使用するのをサポート
- 従来 Supersport のみで提供していた雰囲気のある照明を効果的に演出する「イルミネーションパッケージ」をオプションで設定
- お客様からの声を反映し、新しいインテリアカラーの組み合わせを追加

初代 XJ はジャガーの創立者であるウィリアム・ライオンズ卿が設計した最後のモデルですが、その名を受け継ぐ最新モデルは、著名な「先祖」と同様に革新的で美しく、「乗りたい」と思わせるクルマです。

進化を超え革命的ですらある XJ は、まさに 21 世紀の製品であり、デザインディレクター、イアン・カラムの描くジャガーの未来を拓くブレのない意思を明確に表現しています。

ルーフ全体に伸びるユニークなパノラミックサンルーフは、キャビンに自然光で満たし、XJ が他に類を見ない空間の広がり感と特別な場所にいる感覚をドライバーと乗員に提供します。それと同時に、ジャガーのトレードマークともいえる流れるようなクーペスタイルのプロポーションとしなやかなスタンスはしっかりと留めています。

軽量アルミニウム構造

クルマという形への概念を打ち破るスタイリングは、同じようにインパクトのあるジャガーの先駆的な構造技術によって実現したものです。全体の 50% はリサイクル素材使用である軽量アルミニウム構造は、燃費を向上させ、排気ガスを低減させます。設計と製造段階も含む、クルマの全ライフサイクルを考慮したアプローチを採用するなど、XJ はカーボンフットプリントの最小化に取り組んでいます。

アルミニウムの採用により、競合車より平均 150kg も軽量化が図られた XJ は、その軽さが性能と俊敏性にも貢献するとともに、ジャガー史上最も先進的なパワフルで高効率のエンジンによってさらなる領域を達成します。2012 年モデルのエンジンの選択肢は、3.0 リッターV6 ガソリンエンジン（日本市場は導入せず）の追加で、さらに充実しました。すべてのエンジンはシフトバイワイヤー式の 6 速オートマチックトランスミッションと組み合わせられており、ジャガードライブセレクトまたはステアリングホイールのパドルによって操作されます。

コンテンポラリーなキャビン

XJ のキャビンは、エレガントでコンテンポラリーなデザインと、快適、ラグジュアリー、紛れのないスポーティーなジャガースタイルが融合したものです。クロームとピアノブラックによる細部は、熟練した職人によって美しく仕上げられたレザーとウッドパネルに対し、鮮やかなコントラストを示しています。スタンダードホイールベースモデルに加え、リアシートでより豪華で洗練された空間をお望みの場合には、ロングホイールベースモデルもお選びいただけます。

先進のテクノロジーのおかげで、ジャガーのインテリアデザイナーたちは、クルマのキャビンを超えた、最先端のリビングスペースと呼ぶにふさわしい環境を創り出しました。息を呑むほど高解像度の 12.3 インチ・バーチャルインストルメントパネルが、8 インチの革新的なデュアルビュータッチスクリーンと共に、前方に据えられています。後者は、ドライバーがクルマの機能を確

認したり、あるいは GPS ナビゲーションで進路を確認している間、助手席の乗員は、DVD で映画をみたり TV を視聴することが可能です。

プレミアムサウンドシステムのオプションとして用意されているのは、レンジトップの Bower s& Wilkins 製の 1200W システムで、その音質は最高級のホームエンターテインメントに匹敵します。先進的な“インフォテインメント”には、ハードディスク内蔵のオーディオとナビゲーションシステムが含まれているほか、パワフルなメディアハブを介して、ポータブルオーディオ／ビデオ機器との接続ポートも用意されています。

2012 年モデル改良点

XJ の 2012 年モデルのために施した、キャビンに関する細やかな改良として、いっそうのカスタムメイド化と柔軟な利用があげられます。新たに設定された「リアシートコンフォートパッケージ」には、電動バックレストのリクライニング角度調整機能、4 方向ランバーサポート機能、さらにマッサージ機能が付いています。また、左右の角度が調整できる新型ヘッドレストとフットレストも用意されています。さらには、もしもリアシートの乗員がいっそうのレッグルームを必要とする場合は、座っていない助手席を前方にたたむことも可能です。

ロングホイールベースの Portfolio では、新設定の「エグゼクティブパック」がお使いいただけます。これは XJ の後部を高速のモバイルオフィルに変えてしまうパッケージで、ラップトップ PC を置くための折りたたみ式トレイや、さらなるプライバシー確保のための電動リアサンブラインドも用意されています。このパッケージには、グレードアップされたカーペット、ウッドとレザーが組み合わされたステアリングホイール、グロス仕上げのウッドパネル、そしてクロムミラーハウジングが含まれています。

ジャガーは常にお客様からのフィードバックに注意深く耳を傾けています。そして XJ においては、この姿勢が新しいインテリアカラーの組み合わせという形で結実しました。プレミアムラグジュアリー、またはポートフォリオいずれかのトリムレベルでお選びいただける、このジェット/アイボリーの組み合わせでは、アイボリーのシートにジェットのスティッチングとパイピングがコントラスト鮮やかに施され、また、サーフェス上部もアイボリーとなっており、ヘッドライニングはお客様のお好みでどちらのカラーでもお選びいただけます。

全ての XJ で、これまで Supersport モデルでのみ標準装備されていた「イルミネーションパック」を今回からお選びいただけるようになりました。さらに、トレッドプレートや、トランクルームのラッチ、フロントとリアのエアベントにもイルミネーションが使われています。

「快適性、デザイン、洗練性、それらのすべてにおいて XJ は最高であるべきです。2012 年モデルのために施したカスタムメイドのインテリアによって、XJ は運転する者にとっても、運転される者にとっても、従来よりもいっそう特別な場所となるでしょう。」

ジャガーカーズ デザイン・ディレクター
イアン・カラム

###